

【招待講演】

トラスト
—情報システムと社会の—接点—

島岡 政基^{1,a)}

概要: 人々が情報システムを利用する時、その情報システムの振る舞いはどこまで信頼できる、あるいはしているのだろうか。特に近年の情報システムの利用にはネットワークが介在することが多く、ネットワークを介した情報システム、さらには情報システムを介した相手との信頼がどのように確立されるか、という仕組みの理解は、今日の社会において避けては通れない問題である。本講演では、情報システムをいわゆる抽象的システムの一つと捉え、まず社会学における抽象的システムに対する信頼(トラスト)の議論について俯瞰する。その上で、情報システムにおけるトラストの確立に取り組んできた2つの事例として、サーバ認証や暗号化通信に用いるサーバ証明書を発行する Web Public Key Infrastructure(PKI)の仕組みと、異なる組織に認証情報を提供するアイデンティティ連携の仕組みとそれらを支えるトラストフレームワークについて解説する。トラストフレームワークは、技術や運用を含む一定の規範を定めるとともにその継続性を担保するフレームワークであり、その規範を定める合意形成の仕組みも含め、実社会における情報システムのトラストを議論する参考になると考える。

¹ セコム株式会社 IS 研究所
Intelligent Systems Laboratory, SECOM CO., LTD.

^{a)} m-shimaoka@secom.co.jp